



2022年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年8月10日

上場会社名 株式会社Amazia
 コード番号 4424 URL <https://amazia.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐久間 亮輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 神津 光良

TEL 03-6427-8856

四半期報告書提出予定日 2022年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年9月期第3四半期の業績(2021年10月1日～2022年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期第3四半期	4,968	9.8	23		0		10	
2021年9月期第3四半期	5,509	2.1	414	46.1	414	45.5	268	47.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年9月期第3四半期	1.61	
2021年9月期第3四半期	39.99	38.77

(注)当第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年9月期第3四半期	2,845	2,076	68.2
2021年9月期	3,020	2,049	64.4

(参考)自己資本 2022年9月期第3四半期 1,940百万円 2021年9月期 1,946百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年9月期		0.00		0.00	0.00
2022年9月期		0.00			
2022年9月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年9月期の業績予想(2021年10月1日～2022年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,535	13.0	80	71.8	101	65.3	54	70.4	8.13

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年9月期3Q	6,745,000 株	2021年9月期	6,734,600 株
期末自己株式数	2022年9月期3Q	299 株	2021年9月期	299 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年9月期3Q	6,737,344 株	2021年9月期3Q	6,724,844 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(会計方針の変更)	5
(セグメント情報等)	5
(収益認識関係)	5
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社が属する電子書籍市場規模は、インプレス総合研究所「電子書籍ビジネス調査報告書2022」によると、2021年度の電子書籍市場規模は5,510億円と推計され、2020年度の4,821億円から689億円(14.3%)増加し、2026年度には8,000億円を超える市場に成長すると予測されています。また、2021年度のマンガアプリ広告収益市場は前年と同額の260億円であるものの、2022年度は270億円に増加すると予測されています。

引き続き厳しい競争環境と新型コロナウイルスの感染状況の改善に伴うユーザー行動の変化、海賊版サイトの利用者拡大等が、アクティブユーザー数の伸び悩みや1人当たり課金売上の低下をもたらしている大きな要因であると推察しております。また、個人情報保護強化による影響、新型コロナウイルス感染症拡大による広告指標の悪化等が、1日当たり広告収益の低下をもたらしております。

このような市場環境の中で、「マンガBANG!」の主力であるフリーミアムモデル(注)のコーナーにおいて、配信される作品の差別化を図るために、オリジナル作品の創出や出版社との信頼関係を深化させ、先行配信や人気作品の配信数の増加に努めてきました。また、ユーザー数の増加を重視し、積極的な広告宣伝費の投下を行ってまいりましたが、市場環境等を踏まえて、今後は効率的に広告宣伝費を投下していく方針です。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は4,968,877千円(前年同四半期比9.8%減)となりました。利益面については、営業損失は23,603千円(前年同四半期は営業利益414,811千円)、経常損失は412千円(前年同四半期は経常利益414,891千円)、四半期純損失は10,845千円(前年同四半期は四半期純利益268,895千円)となりました。

なお、当社はマンガアプリ事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の記載はしていません。

(注) フリーミアムモデル：基本的なサービスはすべて無料で提供し、一部の機能を有料で提供するビジネスモデル。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は2,845,172千円となり、前事業年度末に比べ175,008千円減少いたしました。これは主に、敷金及び保証金が71,498千円、投資有価証券が49,999千円増加した一方、現金及び預金が169,794千円、売掛金が107,603千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は768,251千円となり、前事業年度末に比べ202,228千円減少いたしました。これは主に、未払金が186,223千円、買掛金が38,549千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は2,076,921千円となり、前事業年度末に比べ27,220千円増加いたしました。これは主に、四半期純損失の計上により利益剰余金が10,845千円減少した一方、新株予約権が33,386千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点の業績予想につきましては、2022年6月30日に公表した「2022年9月期業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。なお、当該業績予想につきましては、公表時点において、新型コロナウイルス感染症による経済への影響を含む入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

今後、業績予想に変更があった場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,899,544	1,729,749
売掛金	749,681	642,078
コンテンツ	7,193	5,803
未収還付法人税等	82,306	30,126
その他	78,261	94,795
流動資産合計	2,816,987	2,502,553
固定資産		
有形固定資産	7,036	11,842
投資その他の資産		
敷金及び保証金	107,369	178,868
投資有価証券	-	49,999
その他	88,788	101,909
投資その他の資産合計	196,157	330,777
固定資産合計	203,193	342,619
資産合計	3,020,181	2,845,172
負債の部		
流動負債		
買掛金	333,636	295,086
未払金	462,035	275,812
引当金	1,650	455
その他	173,158	196,897
流動負債合計	970,480	768,251
負債合計	970,480	768,251
純資産の部		
株主資本		
資本金	361,504	363,844
資本剰余金	357,790	360,130
利益剰余金	1,227,534	1,216,688
自己株式	△393	△393
株主資本合計	1,946,436	1,940,270
新株予約権	103,264	136,650
純資産合計	2,049,700	2,076,921
負債純資産合計	3,020,181	2,845,172

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2020年10月1日 至2021年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自2021年10月1日 至2022年6月30日)
売上高	5,509,297	4,968,877
売上原価	3,554,208	3,171,227
売上総利益	1,955,088	1,797,650
販売費及び一般管理費	1,540,277	1,821,253
営業利益又は営業損失(△)	414,811	△23,603
営業外収益		
受取利息	9	9
為替差益	-	18,088
受取手数料	850	4,413
その他	67	753
営業外収益合計	928	23,265
営業外費用		
支払利息	22	-
株式交付費	90	60
為替差損	726	-
その他	8	15
営業外費用合計	847	75
経常利益又は経常損失(△)	414,891	△412
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	414,891	△412
法人税等	145,996	10,433
四半期純利益又は四半期純損失(△)	268,895	△10,845

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金期首残高へ与える影響はありません。

また、収益認識会計基準等の適用による四半期財務諸表に与える影響はありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」

(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

なお、時価算定会計基準の適用による四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

当社は、マンガアプリ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第3四半期累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント
	マンガアプリ事業
ユーザー向け	3,346,468
法人向け	1,622,409
顧客との契約から生じる収益	4,968,877
その他の収益	-
外部顧客への売上高	4,968,877

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2022年6月30日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議し、以下のとおり実施しております。

1. 自己株式の取得を行う理由

株価水準とキャッシュアロケーションの状況に鑑み、資本効率向上を図り、市場環境及び経営環境の変化に応じた機動的な資本政策を遂行することを目的として、自己株式の取得を行うものであります。

2. 取得に係る事項の内容

(1) 取得する株式の種類	当社普通株式
(2) 取得する株式の総数	200,000株(上限) (発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合2.97%)
(3) 株式の取得価額の総額	132,000,000円(上限)
(4) 取得期間	2022年7月1日から2022年12月31日
(5) 買付方法	東京証券取引所における市場買付け (取引一任契約に基づく市場買付け)

3. 自己株式の取得の状況

上記市場買付けによる取得の結果、2022年7月1日から2022年7月31日までに当社普通株式93,800株(取得価額65,155千円)を取得しております。